

アゲハモドキ

2011年7月9日は支笏湖国有林の「道新ぶんぶんの森」の植樹祭でした。バス2台分でおよそ100人弱の参加者でした。植樹としては時期遅れです。アプローチの林道が、大雨で崩れて、車の通行が不可能とのことで、修復に時間がかかってやむなしの設定でした。ために割高のポット苗での対応となりました。予算の都合から本数を調整したので、植える苗は400本あまりでした。一人あたりは4本と少し、正味1時間そこそこで終わりました。当協会のサポート隊は10人。午後は前年、前々年に植えたところの草刈をしました。



アゲハモドキに出会ったのは昼食休憩時でした。この日は回りの林の中のツルアジサイが花盛りでした。食後の談笑をしている仲間たちを離れて、まわりをひらひら飛んでくれるフタスジチョウの写真を撮りたくて、カメラを持ってシャッターチャンスを狙っていたのですが、フタスジチョウはさほど速い飛び方ではありませんが、警戒心はなかなか強く接近するとすぐに逃げます。シャッターを切り損ねてばかりで、いらいらしていました。ふと目をやったツルアジサイの花に黒い蝶が止まっていました。???, なんだか変なのです。クロアゲハのような、しかしだいぶ小ぶりなのです。よく見るカラスアゲハの半分くらいの大きさなのです。羽ばたきせずによくゆっくりと花の上で、もぞもぞ動きながら花粉をなめている気配でした。シャッターを幾度も押してゲットした映像をご覧ください。

モドキというのは「似ているが違うもの」の意味で生き物の和名の中にしばしば出てきます。図鑑で確認しますとこいつは蝶ではなく蛾に分類されています。蝶と蛾の区分は明



確ではないようで、はっきりしません。分布は日本全国のようなのですが、私にとっては初めての出会いでした。

後日、水彩でツルアジサイを描きました。アゲハモドキも見たとおりに花に止まらせました。こんな楽しみも森ボラ活動の醍醐味であります。